

厚生労働省科学研究費 がん対策推進総合研究事業(30050301) 「科学的根拠に基づいたがん免疫療法の評価とPublicity」の進捗報告

三村 耕作^{1,2,3,4)}、河野 浩二¹⁾

- 1) 福島県立医科大学 消化管外科学講座
- 2) 福島県立医科大学 輸血・移植免疫学講座
- 3) 福島県立医科大学 先端癌免疫治療研究講座
- 4) 福島県立医科大学 プロGRESS DOHaD 研究講座

【目的】免疫チェックポイント阻害剤の成功により、がん免疫療法は Evidence level の高い標準療法の一つとして位置付けられた。その一方で、未だに科学的根拠が証明されていないがん免疫療法も存在し、自由診療の枠組みで実施されている。このような状況の中、一般市民が情報として目にするがん免疫療法は、様々な種類、形態、医療制度を含んで混沌としており、がん免疫療法に対する患者ニーズが高いが故に混乱を生じている。河野研究班では、「現在施行されているがん免疫療法の実態」と「がん免疫療法に対する正確な知識」が、一般市民に普及するように研究事業を進める。

【方法】以下の3つを骨子とする。

① 自由診療ベースのがん免疫療法の実態把握事業

再生医療新法に登録されている、がん免疫細胞療法を実施している細胞療法実施医療機関(471施設)を対象に、がん免疫療法の実態に関するアンケート調査を実施する。その結果をバイオセラピー学会のホームページで公開する。

② がん免疫療法ガイドブックの作成事業

がん免疫療法の有効性に関する科学的根拠を、癌種ごとに体系的に明確化し、「がん免疫療法ガイドブック(仮称)」として一般公開、発行する。

③ 市民公開講座運営事業

①と②で得られた結果を踏まえて、「がん免疫療法を正しく理解する市民公開講座」を全国各地で計5-6回実施し、科学的根拠に基づいたがん免疫療法に対する普及活動を実施する。

今回は、上記①と②について、それらの進捗状況を報告する。具体的には、①は質問内容、回答方法、調査実施期間など、②は対象、内容、情報収集方法など、現時点での決定事項について説明する。